



# 「砂留文化を次世代へ繋ごう」



2020(令和2)年6月27日 堂々川ホタル同好会情報紙 2020年度第2号 (創刊より186号)

1. 堂々川のホタルは今年も健在。コロナ疲れを清流の香と音と淡い光が癒してくれたと好評。5月は、新型コロナの自粛要請で年間計画の「小学生と一緒に彼岸花の里づくり」は中止でも会員はがんばり、なんと約6000球も調達。
2. 定例会は参加者16人で球根は2カ所へ。堂々公園内5000球。5番砂留下方斜面は猪に荒らされた場所なので、整備をしながら再度植栽し1000球も追加。
3. 今年のホタル飛翔状況は、最下流新迫山橋を起点とし、5番川原から堂々公園の中程の約1700mの全域で光り、昨年多かった5番河原に加え4番川原も多数の観賞者
4. 既に報告済みの水環境学会の文化賞受賞式は結局中止。表彰状は別の形でやっと到着
5. 同好会管理範囲外だが、内広砂留からの水が駐車場脇を通り、本流へ合流の出口が詰まっていて、悪臭がでていたので、ここの「ポイ捨てごみ」は会が除去しました。
6. 彼岸花科のサフランモドキが咲きだし、花色24色以上を目指す今年の第1号です
7. 写真で見るニュース



日本水環境学会 水環境文化賞受賞



観賞者の安全を願い橋に橋を架ける



安全啓蒙看板を掛ける



草を刈る人



穴を掘る人



ホタルがたくさん飛んだ5番川原



ホタルの飛翔



彼岸花科サフランモドキ



堂々公園内のマンホール出口

## 8. 次回定例会 予定日 時間場所

7月19日(日) 8時 堂々川1番砂留 彼岸花球根植栽5番下 約1000球  
草刈り3、4、5川原草刈り、カワナ放流

9. 発行責任者 堂々川ホタル同好会 会長 土肥 徳之

# 堂々川彼岸花基金特集Ⅱ

彼岸花基金代表 坂本 敏男よりお礼を申し上げます。

彼岸花基金は3月1日に開設しまして、「みのだより」「井原放送」「山陽新聞」殿等  
広報支援をしてくださいました。

おかげで、地元や他地域からもご寄付やご支援の  
輪応援のお電話等をいただき大変うれしく思っ  
ています。

又機材や球根などのご寄付もいただき感謝して  
います。

ご支援をいただいた中から幟を作りました。  
次は啓蒙看板を二つ作ります。



コロナ自粛の影響もあり、5月、6月は計画作業が  
大幅に遅れましたが有志がコツコツと作業を推し進  
めてくださり6月21日赤色球根を6000球植え  
ました。これで彼岸花の里、中国地方NO. 1に向  
けてのスタートが切れたわけです。

嬉しいご報告としてお隣の岡山県井原市から球根  
のご寄付の申し出があり、先日堂々公園で知らない  
同志の初顔合わせをしました。

彼岸花の里が福山市、広島県を超えて大きく広がっていくことは、今年参加できなかつた  
小学生にも励みとなり、来年は堂々公園に来て、目標達成に向けて協力してくれることで  
しょう。皆様今後ともよろしく願いいたします。



彼岸花球根を盗掘したり、花を持ち帰ったり、又踏みつける自称カメラマンがいる中、  
貴重な御支援をいただき感謝しております。

「みのだより」でお約束しています。下記にお名前を掲載します（順不動、敬称略）

丸山 孝志	高橋 孝一	武田 武美	諏澤 竹人	渡邊 文夫
小島 八重	奥村 共栄	櫻井 道雄	櫻井 幸子	宮永 美恵
藤井 保夫	中山 晋一	諏澤 敏弘	三浦 典子	坂本 和子
内田 明博	他に匿名希望の方が2名		球根提供 井原市	木田 千晴

現在皆様のご支援金額は合計約23万円です

◎ 堂々川のホームページがスマホから見られます。QRコード⇒

